



TOKYO BOEKI GROUP

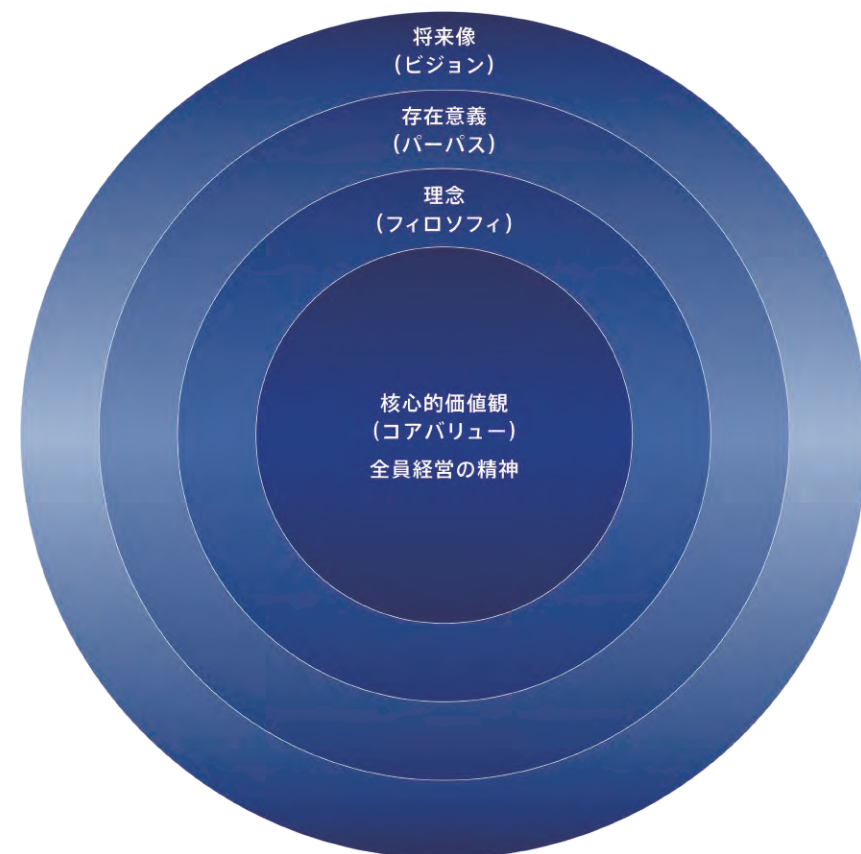
Profile

東京貿易グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン
TEL.03-6841-8300 FAX.03-6841-8388
<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>

核心的価値観(コアバリュー)

■ 全員経営の精神(創業の精神)



理念(フィロソフィ)

- 東京貿易グループは、自由闊達な文化の下、全グループ社員がそれぞれの立場で経営に参画し、常に持続的な社会の発展に貢献し、お客様の成功に寄与し、社会から必要な存在と認められ、お客様から感謝されるグループになる。そんなグループで働く社員が幸せと誇りを感じられるグループになる。

存在意義(パーパス)

- 持続的な社会の発展に貢献すること(SDGs)
- 東京貿易グループ社員の物心両面での幸せを追求すること

将来像(ビジョン)

- 社会の変化に応じたバランスのとれた事業ポートフォリオ(複数の成長事業)を保持しているグループ
- イノベーションにチャレンジし夢を語れる、自由闊達な企業文化を有するグループ
- 社会の発展とおお客様の成功に貢献することで、社会から必要な存在として認められ、グループ社員の皆が誇りに思えるグループ

『事業開発型商社グループ』として持続して成長し続けることで、社会と社員の幸せのために邁進いたします。

※「事業開発型商社グループ」とは、社会・顧客の課題を能動的に発見、その課題を解決する当社ならではの商材やソリューションを創造性をもって開発し、顧客の事業基盤・インフラの維持・発展に貢献していく会社と定義しました。

平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私ども東京貿易グループは、東京貿易ホールディングス株式会社のもとに、多様な特色を持つ国内外の事業会社が集結した独立系の企業グループです。グループの一体感を醸成する「全員経営の精神」を核として、共通の価値観を掲げ、各社が自律的に事業を展開する一方で、グループの総合力を結集させた経営を進めています。これにより、グループ全体のブランド力と競争力を増し、社会に新たな価値を提供することで、持続可能な成長を遂げることを目指しています。

現在、世界経済は未曾有の局面を迎えています。ロシアとウクライナの紛争、中東の不安定化、パンデミックの後遺症による世界的な物価上昇が、各国の金融政策に大きな影響を及ぼしています。米国ではAI技術の発展が半導体市場を活性化させ、経済全体の下支えとなっており、株価は上昇傾向にあります。しかし、中国経済は不動産市況の悪化や生産過剰、および需要減退の影響で、先行きの不安が拭えない環境といえます。

一方、日本国内では、原材料費の急騰を背景に価格転嫁が進み、企業業績が向上しています。また、消費者物価の上昇が労働市場に影響を与え、賃金上昇が実現しました。これらの経済状況を受けて、日本銀行は17年ぶりに金利を引き上げるなど、歴史的な政策転換を行いました。

東京貿易グループは、このような変動する経済技術環境の中で、エネルギーインフラ、イメージソリューション、マテリアルサプライ、そしてスマートマニュファクチャリングの4つのビジネスセグメントに注力し、グローバル市場での存在感を発揮しています。

設立76周年を迎えた東京貿易グループは、今後も恐れることなく変革に挑み、自由で開かれた文化のもと、革新を追求し続けます。そして、ステークホルダーの皆様が安全で安心な生活、経済、社会活動を送れるよう、持続可能な成長と社会への貢献を目指します。

皆様の変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



東京貿易ホールディングス株式会社
代表取締役社長

坪内 秀介

坪内 秀介

グループ概要

会社概要

(2024年3月31日現在)

東京貿易グループ	東京貿易ホールディングス株式会社 およびグループ16社(合計17社)
設立	1947年(昭和22年)10月30日
資本金	50億円(株主資本375億円)
従業員	1,388名
本社 (純粋持株会社)	東京貿易ホールディングス株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン

東京貿易ホールディングス株式会社

役員紹介

(2024年6月25日現在)

代表取締役社長	坪内 秀介
取締役副社長	重住 寛
取締役	中川 伸吾
社外取締役	佐藤 誠治
監査役	
常勤監査役	柴田 憲章
常勤監査役	坂井 常敏
社外監査役	沼田 美穂
社外監査役	櫻井 賢治
執行役員	
DX推進室 室長	益田 瑞文

東京貿易ホールディングス株式会社

- 株式会社 tb innovations
- 東京貿易メディスス株式会社
- TOKYO BOEKI EURASIA LLC

エネルギーインフラ

- TBグローバルテクノロジーズ株式会社
- 東京貿易メカニクス株式会社

イメージソリューション

- 株式会社ティービーアイ

マテリアルサプライ

- 国内
- 東京貿易マテリアル株式会社
 - TB播州電装株式会社
 - 日本アドバンスロール株式会社

- 海外
- 東京貿易(中国)有限公司
 - PT. BANSU ELECTRIC INDONESIA
関連会社(持分法適用関連会社)
・済南魯東耐火材料有限公司

スマートマニュファクチャリング

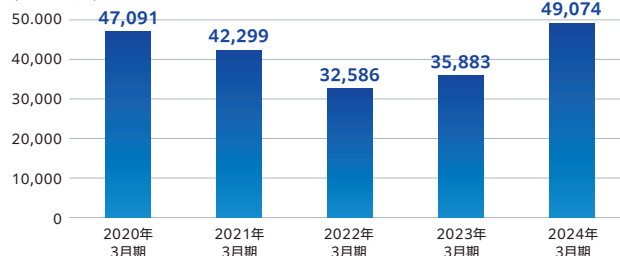
- 国内
- 東京貿易テクノシステム株式会社

- 海外
- 東京貿易技研(広州)有限公司
 - TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.
 - TBTS (THAILAND) CO.,LTD.
 - TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM DE MEXICO, S.A. DE C.V.

連結業績推移

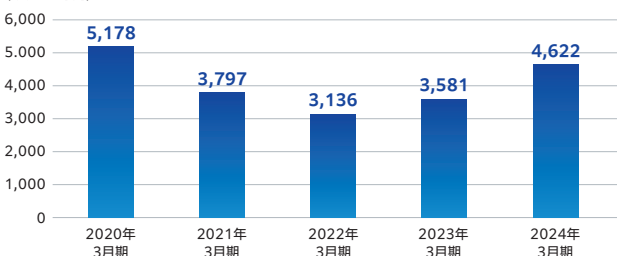
●売上高

(単位:百万円)



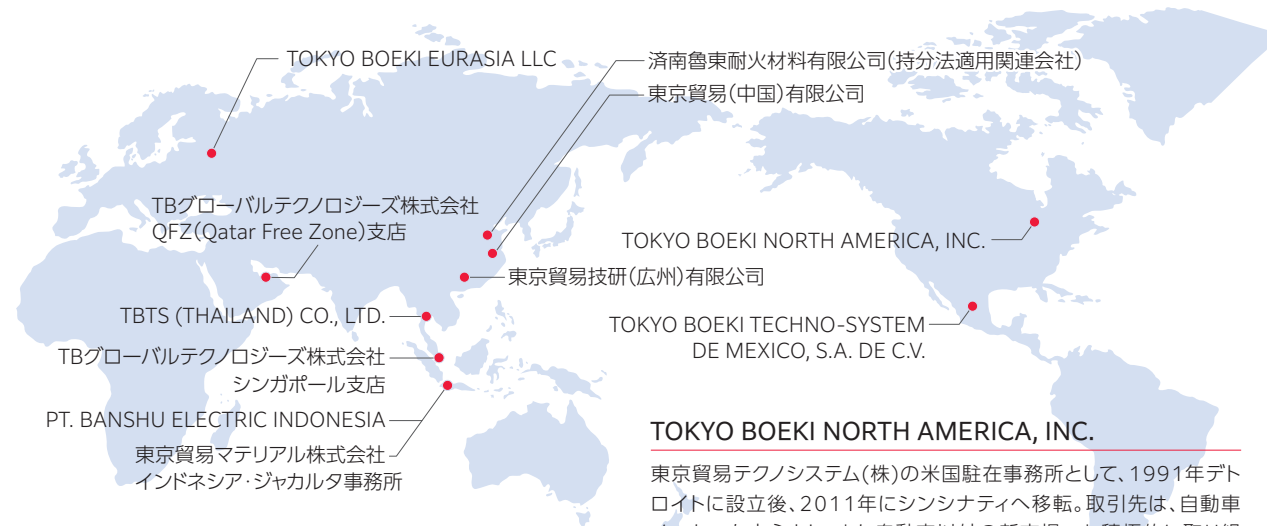
●営業利益

(単位:百万円)



注) 第102期(FY2021)より収益認識会計基準等を適用しており、会計基準変更前の売上高に相当する取扱高は第102期(FY2021)で45,317百万円、第103期(FY2022)で46,095百万円、第104期(FY2023)で60,745百万円です。

世界に広がる東京貿易グループネットワーク



TBグローバルテクノロジーズ株式会社 シンガポール支店

2017年設立。東南アジア市場のローディングアーム事業に関する販売・サービス、市場調査、分析、顧客開拓業務を担っています。

東京貿易技研(広州)有限公司

東京貿易テクノシステム(株)の中国現地法人として2006年広州に設立され、中国市場の中核拠点として成長を続けています。近年は中国自動車メーカーへ大型モデル加工機の販売が伸び、中国市場で大いに活躍しています。

東京貿易(中国)有限公司

2001年、前身である托馬斯貿易(上海)有限公司を設立。2009年、現社名に改名。鉄鋼業で使用する耐火物、金属原料、資機材、建材、鉄鋼などを幅広く取り扱うほか、グループの中国戦略を束ねるフラッグシップカンパニーとして、新規事業開発や中国国内ビジネスの強化に取り組んでいます。

TBTS (THAILAND) CO., LTD.

2005年にタイのバンコクに設立。東南アジア市場の中核拠点として成長を続けています。日系自動車メーカーを中心にさまざまな製品の販売実績があり、開発部門に欠かせない存在として、業界に貢献しています。

TBグローバルテクノロジーズ株式会社 QFZ(Qatar Free Zone)支店

2024年設立。EMEA地域におけるローディングアーム事業に関する販売、アフターメンテナンスを含む営業活動全般を担っています。

TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.

東京貿易テクノシステム(株)の米国駐在事務所として、1991年デトロイトに設立後、2011年にシンシナティへ移転。取引先は、自動車メーカーを中心とし、また自動車以外の新市場へも積極的に取り組んでいます。

TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM DE MEXICO, S.A. DE C.V.

2013年、メキシコのアグアスカリエンテスに設立され、自動車メーカーやサプライヤーへ計測機器の販売・サービスを提供しています。事業領域の拡大を目指し、中南米市場の「モノづくり」を支え、その発展に貢献していきます。

TOKYO BOEKI EURASIA LLC

1959年にモスクワに事務所を開設、2006年に現地法人を設立しました。現在ではCIS中央アジア市場へ事業を拡大し、ナノテクノロジー、資源エネルギーなど、さまざまな分野において、製品・サービスを提供しています。

PT. BANSU ELECTRIC INDONESIA

TB播州電装(株)の現地法人として1996年に設立。2003年にはISO-9001認証を取得。オートバイ用ワイヤーハーネスを製造し、インドネシアのオートバイの多くで採用されています。確かな品質で、モビリティ業界のみならず世界の建築現場や工場ラインなど、過酷な現場でも活躍しています。

東京貿易マテリアル株式会社 インドネシア・ジャカルタ事務所

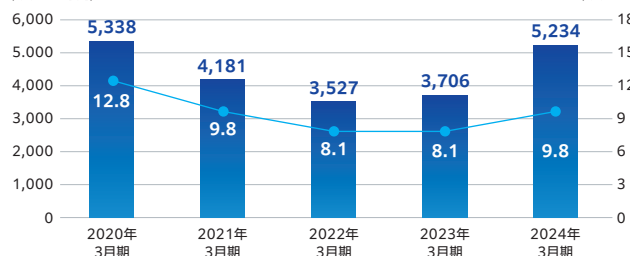
2010年設立。耐火物事業をはじめとする既存事業の市場・新規サプライヤーの開拓、新規事業の検討・調査業務を担っています。

済南魯東耐火材料有限公司

持分法適用関連会社(耐火物の製造、販売事業)

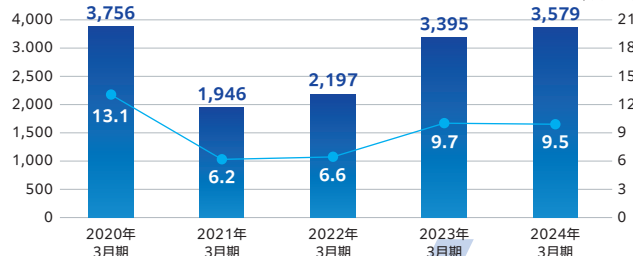
●経常利益／ROA

(単位:百万円)



●親会社株主に帰属する当期純利益／ROE

(単位:%)



東京貿易グループの歩み

1947 創業者・松宮康夫、
(株)東京貿易商會を設立

1951 食糧庁の外国産輸入
食糧指定商社となる

1953 中国との戦後初のバーター取引に成功
トマス方式を生み出す

1954 八幡製鉄(現・日本製鉄)の指定業者となる

1955 米国チクサンジョイント、ローディングアームの
総代理権を取得して機械輸入取引を開始

1957 東京貿易(株)に社名変更

1960年代 ・インド・ゴア・ティンプロ社鉄鉱石の日本総代理権を取得
・豪州B.H.P社マンガン鉱石総代理権を取得
・ソ連(現・ロシア)政府がモスクワ事務所を日本商社第一
号として正式認可
・厚木工場完成、計測・デザイン機器メーカー分野へ進出

1970年代 ・ニューヨークのウォルドルフ・アストリアホテルに高級日本
レストラン「稲ぎく」を開店
・カタールに合併会社QATAR STEEL COMPANY設立
・トヨタ自動車、日野自動車製自動車を中国向けに大量成約

1980年代 ・豪州B.H.P社グレゴリー炭長期輸入契約を締結
・カナダ・クイントットコール社へ出資
・米国ニュージャージーにMONITOR PRODUCTS, INC.を設立
米国国内家電販売事業に進出

1990年代 ・中国山東省済南市に合併会社済南魯東耐火材料
有限公司を設立
・中国浙江省上虞市に合併会社上虞東舜耐火材料
有限公司を設立

2000以降 ・「東京貿易グループ連邦経営」に移行
・東京貿易(株)を改め、東京貿易ホールディングス(株)に
社名変更
・資本金を2013年に30億円、2014年には50億円に増資

2020 (株)tb innovations設立

2021 東京貿易マシナリー(株)と東京貿易
エンジニアリング(株)合併により、TB
グローバルテクノロジーズ(株)設立

2023 ・播州電装グループと資本業務提携。これにより、TB播州電装
(株)とPT. BANSHU ELECTRIC INDONESIAが東京貿易
グループの一員となる
・Tokyo Boeki (RUS) Ltd.を改め、TOKYO BOEKI EURASIA
LLC に社名変更
・日本アドバンスロール(株)が東京貿易マテリアル(株)と資本
提携し、東京貿易グループの一員となる









詳しくはHPをご覧ください <https://www.tokyo-boeki.co.jp>

事業セグメント

世の中に、個性豊かな製品・サービスを提供している東京貿易グループ。
その活躍のフィールドである、4つの事業セグメントをご紹介します。

エネルギーインフラ



カーボンニュートラル社会の実現に向けて、移行期のLNG、また次世代エネルギーであるアンモニア・水素、CCUSのサプライチェーンを支え、安全かつ安定したエネルギー供給に向け、機器・システム・ソリューションを提供します。

国内グループ会社

TBグローバルテクノロジーズ株式会社
東京貿易メカニクス株式会社

スマートマニュファクチャリング



モノづくり・オペレーション高度化を実現するソリューションを、モノづくりのエンジニアリングチェーン・サプライチェーンで提供し、テクノロジーで人口減少やカーボンニュートラルなどの社会課題の解決に貢献します。

国内グループ会社

東京貿易テクノシステム株式会社

海外グループ会社

東京貿易技研(広州)有限公司
TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.
TBTS (THAILAND) CO., LTD.
TOKYO BOEKI TECHNO-SYSTEM DE MEXICO, S.A. DE C.V.

イメージソリューション



画像認識やAIソリューション技術の開発・改善に注力し、差別化、活用することで、新たな価値を生み出し、安全性、効率性、そして利便性の向上を通じて、社会のさまざまな分野に展開し、発展に貢献します。

国内グループ会社

株式会社ティービーアイ

マテリアルサプライ



モノづくりを支える差別化された商材・サービスを拡大しつつターゲット市場のサプライチェーンにおいて幅広く供給し、世界を舞台に事業拡大することを視野に入れ、製造業の課題解決と発展に貢献します。

国内グループ会社

東京貿易マテリアル株式会社
TB播州電装株式会社
日本アドバンスロール株式会社

海外グループ会社

東京貿易(中国)有限公司
PT. BANSHU ELECTRIC INDONESIA
済南魯東耐火材料有限公司
(持分法適用関連会社)



Imagination & Creation



TBグローバルテクノロジーズ株式会社

激動のエネルギー転換期を支え、世界のエネルギー 安定供給に貢献します



ローディングアーム

高い技術力と安定品質で
国内シェアNo.1
海外シェアも拡大中

長い歴史の中で培った技術力と、全国に広がる販売・アフターサービスネットワークにより、ローディングアームの国内シェアはNo.1。今後はさらなる海外展開を図ります。



製販
一貫体制

製販一貫体制による
トータルサービスで
お客様のニーズに徹底対応

流体荷役装置ローディングアームをはじめ、スィベルジョイントなどエネルギーの安定供給に欠かせない設備や機器の開発、設計、製造、販売、据付、アフターサービスまで一貫して対応しています。



液化水素用ローディングアーム

HySTRA

未来への挑戦
革新的なソリューションを積極的に開発

日本経済の再生と持続的成長の実現のために内閣府が推進する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」において、川崎重工業(株)様、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構様、(一社)日本船舶技術研究協会様と共同で、世界初の液化水素用船陸間移送ローディングアームを開発しました。



液化水素は使用時にCO₂を排出しないクリーンなエネルギーとして期待される一方、マイナス253度と極低温であり、取り扱いが難しい流体です。この課題を、約50年にわたるローディングアーム製造技術と新たな断熱技術により解決。今後も脱炭素化社会の実現に向けて挑戦していきます。

Provide the Safe and Secure High-Pressure Gas

TMEX

東京貿易メカニクス株式会社

ソーシャルインフラとして欠かせない、高圧ガスを 安全・安心にお届けし、皆様の暮らしを支えています



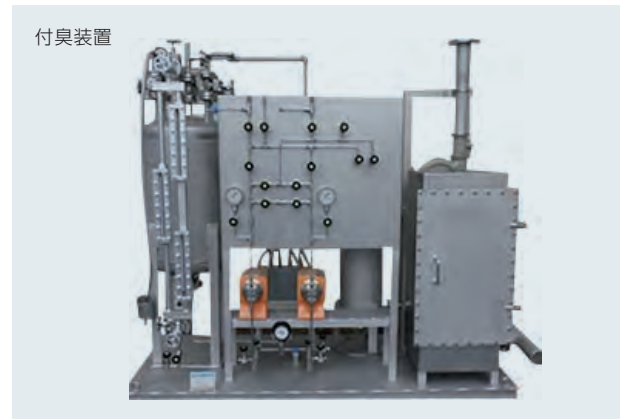
トータルサービスプロバイダーを
目指して

高圧ガス機器に関連した商品を数多く取り扱い、数ある商品の中から、ご要望に応じた商品のご提案、調達、設備に適した商品へのカスタマイズ、さらにはアフターメンテナンスまで、トータルにサポートいたします。



安全・安心の製品群と
技術力

米国コーケン社製のポンプやコンプレッサーを日本LPG業界にいち早く紹介し、日本全国の多くの充填所に納入しています。性能の良さと扱いやすさ、取り扱い実績に基づく確かな技術と、保守・メンテナンスサービスの提供により、五十数年来の永きにわたり、お客様に安心してお使いいただいています。



付臭関連事業
人々の安全・安心のために

付臭装置は、無色無臭の製造ガスに臭いを付ける装置です。もともとガスには臭いがないことから、国は法律でガスが漏洩しても早期に感知し、事故を未然に防止することを目的として、製造ガスに臭いを付けることを義務付けています。私たちの付臭装置は国内約200社ある都市ガス事業者様に広く利用されており、その実績を生かして、今後は海外展開を目指しています。



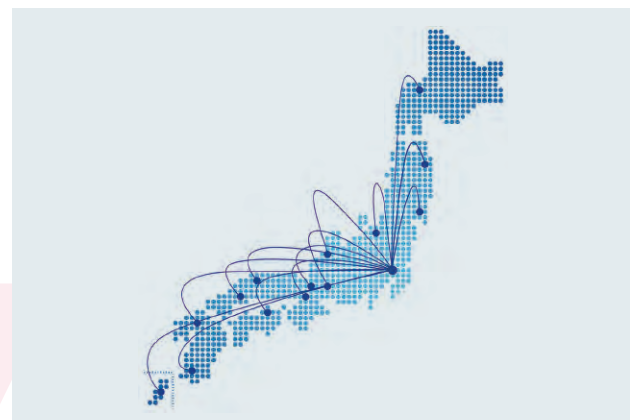
未来を見つめる

「デマンド君」は工場や体育館、駐車場などでの使用を想定した、冷暖房補助装置です。給水は井水、水道水、チラー水など、設置環境によって効率的な方法で行い、大風量ファンによって高温・高湿度の空気を除湿冷風で冷やします。また、クーリングタワー水を利用すれば温風出力も可能です。エアコン利用の削減が可能で排熱もなく、CO₂削減に大きく貢献する商品です。



Challenge to Create the Safe and Secure Society

TB-eye 株式会社ティービーアイ
セキュリティ事業を中核に、革新的な課題解決を通して安全・安心な社会の実現に貢献します



トータルサービス網の拡大で
お客様の安全・安心を追求

TB-EYEブランドの機器の販売だけでなく、開発・設計・保守サービスまでのトータルサービスを全国25拠点から地域に密着して展開しています。導入時はもちろん導入前／導入後もお客様に安心していただける、きめ細やかな体制を全国に拡大しています。



多様なニーズに対応する
AIソリューションの開発

AI技術をセキュリティカメラに搭載した「TB-eye AI Solution」(略称:TAS(タス))は、高度化・多様化が続くお客様のニーズに合わせたソリューションを提案します。飛躍的に向上した画像解析能力により、顔認証や侵入検知、車番認証など、さまざまな角度からの課題解決が可能になりました。



便利で安全な
コミュニケーションのために

Wi-Fiを用いた独自の通信技術によって、高音質な同時双方向通話を可能にしたインカム「クリアトークカム」は、医療・介護施設、宿泊施設、娯楽施設など幅広いお客様にご活用いただいています。デジタル通信のためセキュリティ性にも優れており、安全な現場オペレーションに貢献します。



新たな提案で
社会へのさらなる貢献を目指して

新たな認証方式として確立された「顔認証」を用いて、より豊かで便利な社会に貢献します。顔認証プラットフォームでは「勤怠」「入退室管理」だけではなく、「予約」や「決済」など暮らしをより良くする機能も展開し、新しいトータルサービスの実現を目指します。

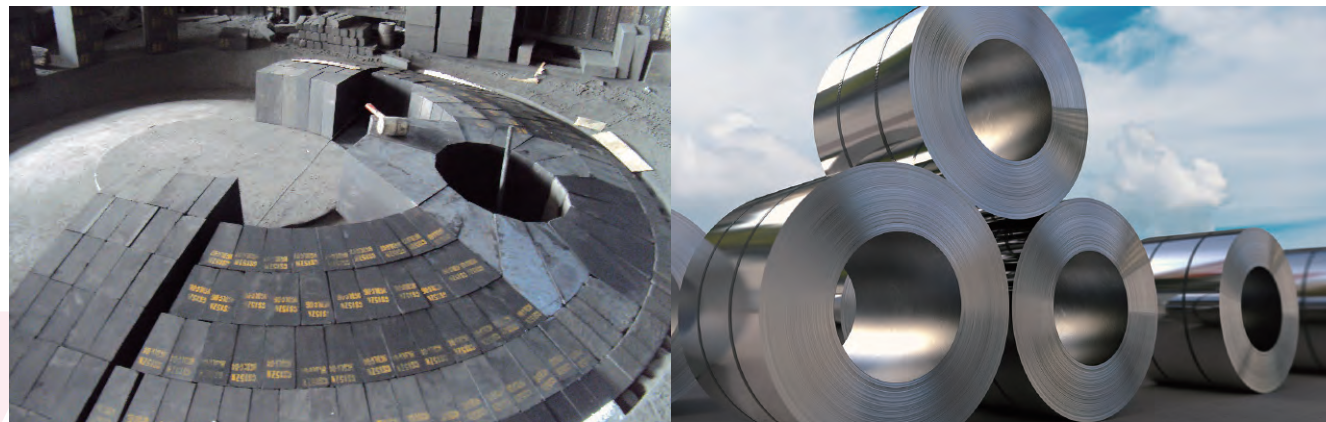


Global Solution Provider for Steel Industry



東京貿易マテリアル株式会社

鉄鋼産業のグローバルソリューションプロバイダーとして、持続的成長可能な社会の実現に貢献します



耐火物の トータルサービス

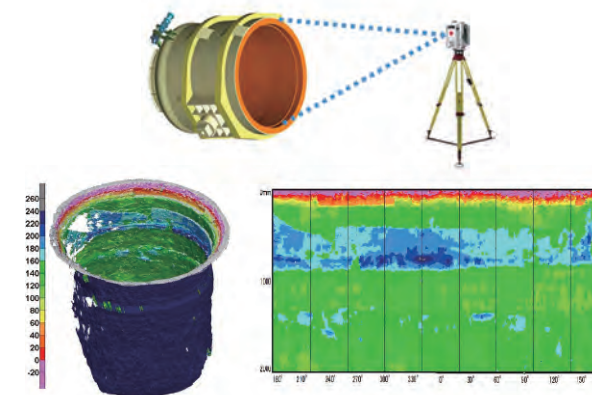
社会インフラの中心である鉄の生産に不可欠な耐火物の原料供給から、設計・製造・販売・アフターサービスまでのトータルサービスを提供しています。持続的成長が可能な生産を目指してデジタル技術を駆使した耐火物の残厚測定を展開するなど、製造現場におけるDXの推進支援にも注力しています。

高品質な 鉄鋼製品の安定供給

日本の高品質な鋼板、ステンレス、線材などを東南アジア市場を中心に安定供給するとともに、海外における鋼材加工販売事業などの構築を推進しています。

世界に広がるネットワークで ベストソリューションをお客様に

中国では合併会社を設立し、耐火物・自動車・資源関連事業に取り組んでいます。そのほか、インドネシアに事務所を置き、ベトナムやインドなどの東南アジアを中心としたネットワークを通じ、世界のニーズに対応しています。



脱炭素・DX化 未来への取り組み

鉄鋼業界を中心に、脱炭素化、省エネ化、デジタル化など、お客様の課題を解決するさまざまなサービスを拡充。製鉄設備で使用されている耐火物の残厚を三次元測定機で計測し、残厚情報のデータ化と炉寿命の最適化を図る耐火物残厚測定システムをご提案しています。また、高炉からCO₂排出量が少ない電炉への転換に注目し、原料となる鉄スクラップの等級判定に、AIを導入したソフトウェアサービスを提供し、業務効率化に貢献します。



技術を鍛え、未来を造る

モノづくりに欠かせない各種圧延用鍛造ロール事業を展開する専門メーカーです。使用環境に適したロール提供のためのヒアリング・仕様検討、溶鋼から仕上げ加工に至る一貫生産、保守・メンテナンス、さらにはお客様の課題解決のため、ニーズを先取りした技術開発を行っています。技術を鍛え、未来を造る会社として高付加価値鍛造ロールの需要にお応えしています。

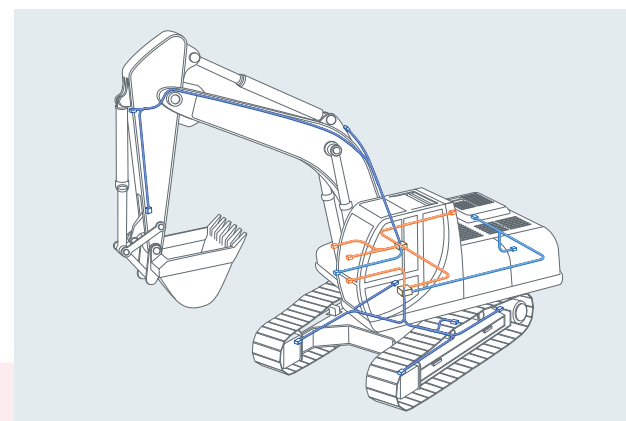


Envision the Advanced Mobility Society



TB播州電装株式会社

つなぐ技術で未来を創造し、次世代社会の駆動に 貢献します



創業59年
信頼と品質の実績

1965年の創業以来、お客様の多様な要求にスピーディーに応えられるよう、多様な生産ライン、海外生産拠点を拡大し、品質・技術向上、コスト低減活動に取り組んでいます。



情熱とアイデア
私たちにお任せください

私たちがお客様から信頼をいただいているのは、品質はもとより、さまざまなご希望に対応できる企画力、営業力、製造力を備えているからにほかなりません。大小ロット・多品種・短納期など、難題にチャレンジしているからこそお客様と笑顔のお付き合いができるものと信じています。



夢は世界へ

インドネシアに製造拠点を置き、インドネシア二輪ワイヤーハーネス市場において、トップクラスのシェアを誇ります。インドネシア工場と日本の本社工場で情報の一元化とオープン化を実現し、人材の相互交流を活発にし、ボーダレスで人種・文化・言語・距離を意識することなく組織をグローバル化しています。インドネシアを拠点に、成長著しいアジアマーケットの進出にも着手し、技術の蓄積と垂直統合のビジネスモデルを推進。私たちのワイヤーハーネスを世界に届け、高度なモビリティ社会の実現に貢献します。



未来への取り組み
省エネ・省資源への配慮

私たちは環境に配慮された工場で生産された製品を積極的に購入し、環境負荷物質や紛争鉱物を含まない製品を使用してワイヤーハーネスなどを製造していきます。私たちの事業活動が資源問題、温暖化、環境への影響に関わることを認識し、持続可能な社会の実現、温室効果ガスの排出削減、化学物質の確実な管理に向けて努力してまいります。



Future Digital System Integrator



東京貿易テクノシステム株式会社

計測データで次世代のモノづくりを創造し、お客様のスマートマニュファクチャリングに貢献します

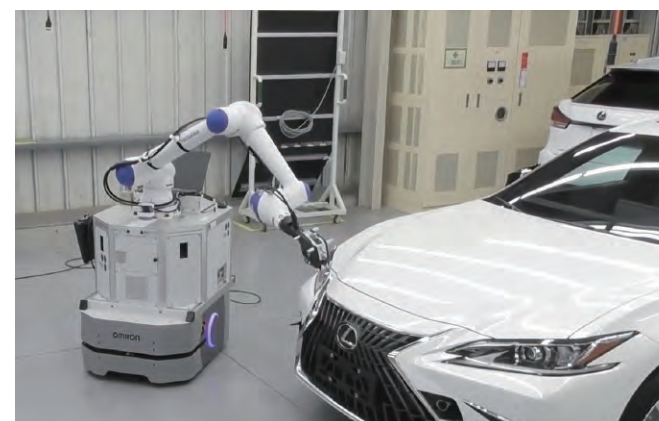


未来を拓く3D計測ソリューションと
グローバルなサポート体制

自動車を中心に重工業、建機、建築建設、家電、プラントなどのさまざまな業界で、企画設計、実験研究、生産準備、量産の各工程の課題を解決する3D計測ソリューションを提供しています。

また、測定データの利活用を通じて、生産性・国際競争力の向上、サステナブルな開発・生産の実現に貢献しており、製造業、建設などのマーケットにとどまらず、常に変化するお客様の課題解決ソリューションにもグローバルに対応しています。

日本以外にもアメリカ、タイ、中国、メキシコの4カ国に拠点を構えており、サポート体制も確立しています。



人とロボットが一緒に働ける
社会の創出を目指して

高所作業や無理な姿勢が必要である人の負荷が大きい仕事はロボットが担い、人とロボットが一緒に共存する次世代の社会の創出を目指して、計測から解析までの自動化をはじめとしたシステム開発に取り組んでいます。

お客様の生産性を高めるために、モノをつくる工程の削減や不良品の発生を削減する計測技術や自動化技術の導入によって、直接的・間接的にお客様のサステナビリティの拡大に寄与しています。

また、最新鋭の技術・コンセプトを取り込んだソリューションの継続的な開発・提供により、常に変化する顧客・市場の課題に果敢に挑戦し、解決します。



For the World's Medical Care and Human Health



東京貿易メディシス株式会社

検査機器の開発・販売を通して世界の医療と人々の健康に貢献します



製造からアフターサービスまで
ワンストップサービスを提供

医療検査機関を中心とした検査を必要とするお客様向けに、生化学分析器の開発、販売、メンテナンスを提供しています。国内に製造、技術、調達、営業、品質保証、カスタマーサービス部を備え、全社一丸となり、ワンストップでお客様の要望に迅速にお応えいたします。世界の人々の健康のため、これまでの実績と圧倒的なフォロー力を生かし貢献してまいります。



世界に先駆けて
卓上型の生化学分析器を開発
メイドインジャパンの安心と信頼

バイオリスシリーズは、小型や大型装置では扱いにくい中規模の検査数に対応し、また病院のスペースを取らないことから、導入のしやすさで高評価をいただいています。また検査システム「メディシスリンク」と組み合わせることで、病院内の多様な検査データを一元管理することが可能です。バイオリスの部品はほぼ日本製、組み立ては日本で行っています。国内委託先とタグを組んで厳しい品質管理と改善に日夜取り組んでいます。



バイオリス30iがUNIDOの
STePPに登録

私たちの技術(バイオリス30i)は、国際連合工業開発機関(UNIDO) 東京投資・技術移転促進事務所(東京事務所)のサステナブル技術普及プラットフォーム(STePP)に登録されています。



世界に広がる
バイオリスシリーズ

バイオリスの累計販売数はおよそ8,700台、世界80以上の国と地域への販売実績があります。海外代理店網も充実しており、国内の医療機器関連の法規・規則はもちろん、海外法規であるIVDR(EU)に適合、FDA(米国) 510(k)認証を取得し、信頼と安心を重ねています(2024年3月末時点)。

Thinking is your technology

私たちtb innovationsは、国内外のスタートアップ企業様へ新しい価値を提供するコーポレートベンチャーファンドを運営しています。



株式会社 tb innovations

スタートアップと東京貿易グループとの連携を通じ、社会課題を解決し、東京貿易グループビジョン達成に貢献します



なぜ共創(Open Innovation)が必要なのか？

私たちは投資先スタートアップと東京貿易グループ間の共創を促進することで、グループ全体にイノベーションを起こすことに貢献します。VUCA(Volatility 変動性、Uncertainty 不確実性、Complexity 複雑性、Ambiguity あいまい性)と呼ばれる現代のビジネス環境の中では、自社の力だけで常に競争優位性を維持するのは困難です。私たちは優れた技術、革新的なアイデアを持つスタートアップとの共創は、時代の流れに合わせた生存・成長戦略、ビジネス発展には欠かせない手法と考え、これに取り組んでいます。



コーポレートベンチャーキャピタルの運営

CVCファンドを通じて多様な領域のスタートアップへの投資を実行、国内外へ積極的に投資を拡大する方針です。投資先はいずれも革新的な要素・先端・応用技術、新規事業の創出および新産業の創造、国際社会の課題に取り組む新進気鋭のスタートアップです。これらスタートアップと東京貿易グループとのオープンイノベーションを促進し、技術やアイデアの共有を通じて、グループのビジネス拡大や企業価値の向上を図ります。



東京貿易グループとの連携によるイノベーションの加速

スタートアップにイノベーション実現のための現場を提供します。私たちの投資先企業は東京貿易グループとの連携によって概念実証(PoC)、共同開発の機会を得られます。さらに定期的に行われるグループ内企業向けのオープンイノベーション・セミナーにおいて、新たな技術・ビジネスアイデアについて意見を交わすことができます。こうした活動はスタートアップと東京貿易グループの共創ネットワークの構築を促し、イノベーションエコシステムを一層活性化させることにつながっていきます。



新たな事業ポートフォリオの創出

東京貿易グループが持続的に成長するための事業ポートフォリオ創出と最適化に取り組んでいます。一例として、近年、商社の取引はモノ・財貨からサービス・データへと急速にシフトしています。こうした環境下、私たちは東京貿易グループの将来のパートナーとなるデータ関連のスタートアップに注目しています。これらスタートアップとの協業によってデータ分析・活用や関連するテクノロジーの強化を図り、新たなビジネスモデルを創造することで、東京貿易グループの持続的な成長実現に貢献します。